



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 27 August 2018

IDFプレスリリース

2018年8月27日、ブリュッセル発

マイコプラズマ・ボビスとヨーネ菌が酪農乳業界の課題
IDFワールドデーリーサミット2018は薬剤耐性に照準を当てる
Mycoplasma bovis and Paratuberculosis challenges for dairy sector
IDF World Dairy Summit 2018 focuses on Antimicrobial Resistance

2017年7月の発生以来、ニュージーランドでは、風土病でないマイコプラズマ・ボビス病を同国から撲滅することが酪農家の課題となった。同国政府はこの病気に罹患した牛群を2年以内に排除すべく酪農業と肉用牛肥育業とパートナーを組んでいる。

デーリーニュージーランドの Tim Mackle 最高経営責任者は、10月15-19日に開催される IDFワールドデーリーサミット 2018 テジョン開催期間中の10月18日に編成された家畜の健康とアニマルウェルフェア特別講演会でマイコプラズマ・ボビスを撲滅する官民パートナーシップの概要について講演する。

カナダは Guelph 大学の David Kelton 博士は、グローバルな視点からヨーネ病のプレゼンテーションする。ヨーネ病は管理が難しい病気故に、世界の畜産業界にとって経済的な損失が大きい。

「ヨーネ病の管理計画は世界全体で見ると振れ幅が大きい。この病気は経済的にも人畜共通感染症の可能性の点からも重要である点で一般的な見方が一致しているが、この病気を管理する課題には重いものがあります。」と Kelton 博士は語った。

Elisabeth Erlacher-Vindel 博士は、国際獣疫事務局 OIE の薬剤耐性 AMR に関する戦略と世界的な視野から抗生剤の慎重な用法の課題をプレゼンテーションする予定。

「抗菌剤の入手と利用は、医学と獣医学の実施規範を転換させました。また世界中で人類の健康と家畜の健康、食品の安全性と食糧保障を進歩させました。」と Erlacher-Vindel は語った。

「しかし、抗菌剤の過剰な使用と誤用は薬剤耐性能力を獲得した微生物の発生と拡散の原因になり、人間のみならず家畜の健康とアニマルウェルフェアへの脅威にもなっています。」

米国ミシシッピ州立大学の Keun Seok Seo 博士は、乳牛の病気、薬剤耐性とそのメカニズムについて講演し、黄色ブドウ球菌による感染症から乳牛を守る牛乳房炎ワクチンの効果を検討する予定である。ソウル国立大学の Yong Ho Park 教授は、コーデックス薬剤耐性特別作業部会の概要を述べる。ユトレヒト大学の Tine van Werven 博士は、オランダの事例を紹介しつつ抗生剤の使用量を減らす、ヘルシーな農場の取組を紹介する予定である。

薬剤耐性AMRの管理は、家畜の健康とアニマルウェルフェアに重要であるが、公衆の健康を守るために人間にも重要であるとキャロライン・エモンド I D F 事務総長は語った。

「過去の体験を振り返りながら、酪農家はAMRに対する有効な政策と最高規範から習得できます。」とエモンド事務総長は語った。「家畜に使用される抗生剤に関するO I Eの世界的なデータベースは、進展を監視し薬剤耐性を封じ込めるために素晴らしい取り組みとなります。AMRに関して I D F はコーデックスおよびO I E と緊密に連携して活動しています。私たちの集団的な努力が家畜の健康とアニマルウェルフェアの改善に貢献しています。」

ノルウェーは Tine 社の Olav Østerås 博士は、家畜記録システムを用いて、ノルウェーのアニマルウェルフェアに関するO I Eと I S Oスタンダード（規格）の適用について講演する予定である。Jeffrey P Rushen 博士は、アニマルウェルフェア計画に関するカナダの状況をプレゼンテーションする予定である。帝京科学大学の佐藤衆介教授は、日本におけるアニマルウェルフェアの実施規範について異なるモデルの観点からプレゼンテーションする予定である。

オランダはワーゲニンゲン大学の Henk Hogeveen 教授は、家畜の健康の経済的な重要性について講演し、乳牛の個体レベルと群レベルで家畜の健康を最適化する方法を描く予定である。

「多くの酪農システムにおいては、全頭乾乳期治療から離れることが安上がりとなります。」と Hogeveen 教授は語った。「乾乳期治療を適用するかどうかの判断は、経済性、薬剤耐性および牛のアニマルウェルフェア間のバランスです。」

英国は AHDB の Susie Stannard 女史はアニマルウェルフェアの消費者価値を検証する。タイ国は Chulalongkorn 大学の Chaidate Inchaisri 博士はホルモン同調化と活動センサーを用いた、タイ国における乳牛の繁殖成績を改善する経済学をレビューする予定である。

次のリンクをクリックして IDF ワールドデーリーサミット 2018 テジョンのプログラムをダウンロードしてください。

<https://www.fil-idf.org/wp-content/uploads/2018/07/Programme-IDF-World-Dairy-Summit-15-19-Oct.pdf>

完

翻訳：J I D F 事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。